

検討委員会報告書

1 あすなろの郷の課題

- 老朽化** 旧棟S48～51建設 → 40年以上経過
- 重度化** 療育手帳最重度の方が 3/4以上
- 高齢化** 50才以上の方が 半分以上

2 あすなろの郷の今後の役割と機能

あすなろの郷の施設は、機能ごとに

- ①「最重度障害者居住サービス」
 - ・セーフティネット機能として、最重度の方や医療的ケアが必要な利用者が入所する施設です
- ②「高齢障害者居住サービス（高齢化棟）」
 - ・介護が必要となった主に65歳以上の利用者が入所する施設です
- ③「地域移行促進センター」に整備します。
 - ・地域生活訓練やコーディネート、地域交流を行います

○ 地域移行促進センター(仮)を先行的に整備する。

- 高齢障害者の利用状況を勘案しつつ、専門性を有する民間事業者の活用も検討しながら、高齢化棟を整備する
- 現在の新棟を活用しセーフティネット棟とする。

3 地域移行促進センター(仮)のイメージ

- あすなろの郷内に入所施設として整備する。
 - 健康管理や夜間支援等が行き届いた環境で生活訓練を行い、グループホーム等への地域移行等を進める。
- 【施設】**ユニット型建屋とし完全個室を確保
(各ユニットに風呂・トイレ・共用スペース設置)
- 【訓練機能】**6名から8名程度の少人数での生活訓練
(ユニット型)を実施
グループホームと同じ生活をあすなろの郷内で体験



県議会における知事答弁（平成30年3月）

- 民間施設で対応が困難な障害の重い方や医療的ケアが必要な障害者など、公的機関が担うべきセーフティネットの機能は、しっかりと維持していくべき。
- 報告書について、(民間活用の部分で)十分に検討しつくしたとは言い切れない部分がある。改めて検討の場を設け、家族会や在宅障害者の家族など、幅広く関係者から意見を聞きながら、建て替えに向けた具体的内容について、調査・検討していく。

あすなろの郷入所者に対するアセスメント調査について

- 最重度・医療的ケアを要する者など民間事業者の受入困難な者、高齢障害者（65歳以上）、地域生活に向けた訓練を行う者に区分するため、アセスメント調査を実施。

※調査委託先：一般社団法人茨城県社会福祉士会

- 調査対象者（平成30年11月1日時点）※台帳閲覧の了解を得られなかった5名を除く

県立あすなろの郷 障害者支援施設	430名
障害児入所施設・療養型介護事業所	39名
合 計	469名

- 結 果

- ・ 書類（個人台帳）調査の結果、障害の状況による分類は下記のとおりとなりました。

障害の状況による分類		該当者数
セーフティネット	民間事業者の受入困難 ・ 最重度の障害程度 ・ 処遇が困難な強度行動障害 ・ 医療的ケアを要する など	197名
	障害児入所・療養型介護	39名
介護が必要な障害者 ・ 概ね65歳以上 ・ 強度行動障害等により他者とのコミュニケーションが難しい者		62名
地域生活を目指した訓練が可能 ・ 概ね65歳未満		171名
合 計		469名

県立あすなろの郷建て替えにあたっての考え方

1 県立あすなろの郷の現況

- 所在地：水戸市杉崎町1460
- 沿革：S48.12 コロニーあすなろ開設
H15.4 内原厚生園と統合し、あすなろの郷に改称
- 敷地面積：665,452㎡ ・建物面積：29,745㎡
- 入所定員・現員 H30.11.1現在

施設の種別	定員	現員
障害者支援施設	462	434
重症心身障害児・者施設	40	40
計	502	474

- 指定管理者名 社会福祉法人 茨城県社会福祉事業団
- 指定管理期間 平成18年4月1日～平成36年3月31日(予定)

2 建て替えに関する論点

- (1) 施設の機能
- (2) 施設の運営形態

3 各論点についての考え方

(1) 施設の機能

- 施設の機能については、あすなろの郷検討委員会報告書において提案された内容のとおり、以下の3つに整理する。
 - ① 最重度障害者居住サービス機能(あすなろの郷病院、重症心身障害児施設を含む)
 - ② 高齢障害者居住サービス機能
 - ③ 地域生活を目指した訓練を行う機能

(2) 施設の運営形態

- 上記(1)の各機能を踏まえ、県は公的機関が担うべき役割に重点化を図るとともに民間施設との適切な役割分担を図るという観点から整理・検討する。
- 県は、最重度障害者居住サービス機能を担うこととし、セーフティネットとして、民間法人で受け入れ困難な方の処遇に特化していく。
- 高齢障害者居住サービス機能と、地域生活を目指した訓練を行う機能については、民間法人においても取り組んでいただけないか。

あすなろの郷病院の建て替えイメージ

1 あすなろの郷病院の現状

(1) 構造

- ・ 病院棟（昭和 49 年）
鉄筋コンクリート造（2 階建て）延床面積 898.05 m²
- ・ 医療型障害児入所施設，療養介護型事業所（昭和 49 年）
鉄筋コンクリート造（1 階建て）延床面積 1,046.41 m²

(2) 機能

- ・ 外来部門：あすなろの郷内の障害者支援施設 11 寮の入所者を対象に診察
- ・ 医療型障害児入所施設，療養介護事業所：40 床
- ・ 短期入所：2 床

(3) 問題点

- ・ 設備の老朽化
- ・ 必要な設備がない（各部屋への酸素配管・非常電源等）
- ・ スペースが狭い（居室・共用部分・収納スペース・トイレ等）
- ・ 各部署間の動線が悪い

2 建て替えイメージ

- ・ 現在の機能を維持
- ・ 外来部門において，施設外の患者も受け入れることができる設備整備
- ・ 居室・共用部分・収納スペース等の余裕のある広さの確保
- ・ スタッフの動線を考慮した環境
- ・ 機能の集約

3 建て替え後の展望

- ・ 県立の障害者施設の病院として，地域に開かれた障害者対応病院（セーフティネット）としての役割を果たす
- ・ 入院病棟における必要機器を整えた安全安心な医療の提供，充実した潤いのある生活のための環境づくり

あすなろの郷整備調整会議 今後のスケジュールについて

○スケジュール（4回開催予定）

	開催時期	検討内容
第1回	平成31年2月7日	アセスメント結果, 病院建て替え等
第2回	平成31年 4月頃～9月頃	役割分担の明確化, 整備スケジュール, 取りまとめ
第3回		
第4回		